

部門	年度	受賞者	年齢	所属	授賞理由
文化功労	令和 6	特定非営利活動法人のべおか天下一市民交流機構			県指定有形文化財である能面を活用した「のべおか天下一薪能」を地域一体となって開催し、国内外に発信するなど、永年にわたり本県の文化振興及び次世代への継承活動に寄与した功績
文化功労	令和 5	宮崎県川南町モーツァルト音楽祭実行委員会			地域発祥の音楽祭において、永年にわたり地元合唱団と国内外の音楽家との共演を重ね、本県ゆかりの楽曲を創作し海外での公演に発展させるなど、本県の地域文化振興及び青少年育成に寄与した功績
文化功労	令和 5	前田博仁	81	宮崎民俗学会会長	永年にわたり県内各地の民俗、とりわけ神楽の調査研究に尽力し、その成果を「神楽のこころを舞いつぐ」などの著書及び映像資料として広く発信し、本県民俗文化の保存継承及び普及に寄与した功績
芸術	令和 5	布施伊夜子	85	宮崎県俳句協会顧問	近年の句集「あやかり福」が全国的な評価を受けるとともに、「宮崎の季語」「宮崎俳枕」などの刊行を通して広く俳句を詠む環境づくりに携わり、本県俳句文化の向上発展に寄与した功績
文化功労	令和 4	田中等	73	彫刻家	屋外彫刻の第一人者として現代彫刻を国内外へ広く発信し、県内各地の彫刻のあるまちづくりへの貢献や短歌とコラボレートした作品集の発表などにより本県文化の発展に寄与した功績
文化功労	令和 4	岡林稔	80	宮崎大学名誉教授	永年にわたり中村地平をはじめとした地域文学の研究・顕彰や文芸同人誌「龍舌蘭」等を通じた執筆により県内の文芸活動を牽引し、後進の育成にも尽力するなど本県文化の向上に寄与した功績
芸術	令和 3	俵万智	58	歌人	歌集「未来のサイズ」により遼空賞を受賞するとともに、評伝「牧水の恋」や牧水・短歌甲子園の審査等を通して、若い世代を含む短歌文学の裾野を拡大するなど、本県文化の向上発展に寄与した功績
学術	令和 3	伊藤哲	57	宮崎大学農学部教授	森林の将来にわたる多面的機能を維持するため、生物多様性等に配慮した自然林再生や人工林施業の研究などにより、本県はもとより全国的な森林管理の推進に寄与した功績
文化功労	令和 2	寺原重次	90	宮崎県語り部の会会長	本県の方言や民話の採集に努め、その成果を語りや民話劇の公演などの地域に根ざした多彩かつ活発な活動により広く発信し、永年にわたり本県伝承文化の継承・普及発展に寄与した功績
文化功労	令和 2	森川紘忠	80		昭和の宮崎を生きた人たちの戦争体験や芸術文化に関わる記憶を、本人の証言と詳細な映像で記録した「宮崎この人」シリーズの制作を重ね、後世に貴重な文化的資産を残した功績
文化功労	令和 元	岩切裕敏	71	宮崎県書道協会顧問公益財団法人宮崎県芸術文化協会副会長	全国的な複数の公募展で優れた評価を受け、書家として広く活躍するとともに、指導者支援講習会の制度化を図るなど、永年にわたり後進の育成や書道界の発展に尽力し、本県芸術文化の向上に寄与した功績
学術	令和 元	村上昇	67	宮崎大学ⅠＲ推進センター特別教授兼学長特別補佐	ニューロメジンS及びUの食欲・体温調節作用などの神経・内分泌研究により国際的な成果をあげるとともに、口蹄疫等への防疫体制確立に関する取組を行うなど、本県獣医学や畜産業の向上発展に寄与した功績
学術	平成 30	公益財団法人服部植物研究所			世界唯一のコケ植物専門の研究機関として、新種の発見や日本産蘚苔類を網羅するリストの作成・改訂など基盤情報の確立及び研究成果の公開により、本県のみならず国際的な学術文化の進展に寄与した功績
体育・スポーツ	平成 29	三澤澄男	78	特定非営利活動法人ひむか感動体験ワールド山・岩場案内人	永年にわたり大崩山系を中心とした岩場の登攀ルートの開拓や登山環境の整備に尽力するとともに、宮崎の岩場を広く全国のクライマーに発信し、本県登山文化の発展及び地域の振興に寄与した功績
芸術	平成 29	鳥丸軍雪	80	ファッションデザイナー	ファッションデザイナーとして、国内外にわたり高い評価を得て、欧米の歴史ある博物館で展覧会を開催するなど、国際的に活躍し、本県芸術文化の発展に寄与した功績
学術	平成 29	牧水研究会			研究誌「牧水研究」の定期的発行やシンポジウムの開催を通して、新たに構築した若山牧水の人物像や文学史上の位置付けが、県内外で高く評価され、本県文化の発展に寄与した功績
学術	平成 29	北村和雄	62	宮崎大学医学部教授	ホルモン的一种であるアドレノメデュリンを発見し、その研究により、炎症性腸疾患等に有効な医薬品を開発する宮崎大学発ベンチャーを創業し、本県のみならず我が国の学術文化の発展に寄与した功績
文化功労	平成 28	鶴ヶ野勉	77	「しゃりんばい」編集委員長「遍歴文学会」編集委員	永年にわたり小説を中心に創作活動を続け、南九州の農山村を舞台とする地域に根ざした作品が県内外で評価されるとともに、自分史講座など幅広い文章作りの指導を通して本県文芸の発展に寄与した功績
文化功労	平成 28	中村禎子	76	合唱指揮者宮崎市芸術文化連盟会長	「宮崎はまゆうコーラス」を創設し、指揮者として全国的水準に指導育成するとともに、永年にわたり県内合唱団体の活動・交流・発展に尽力するなど、本県音楽文化の向上に寄与した功績
芸術	平成 28	加藤正	故人	画家	日本の前衛美術の旗手として、絵画と版画を中心に優れた作品制作を続けるとともに、本県において「新芸術集団フラクタス」を結成し、郷土の芸術団体や後進の育成に尽力し、本県文化の向上に寄与した功績

部門	年度	受賞者	年齢	所属	授賞理由
文化功労	平成 27	待木美恵子	84	日本民謡舞協协会会长	古くから歌い踊られてきた本県の民謡を全国に広く紹介するとともに、「サンバ いもがらぼくと」に代表される新たな作品の振付けや、後進の指導に永年にわたり尽力するなど本県文化の発展に寄与した功績
芸術	平成 27	尾崎真理子	56	読売新聞東京本社編集局文化部部长	生まれ育った本県で児童文学と出会い、優れた文芸評論活動に取り組む中で著書「ひみつの王国評伝石井桃子」が第34回新田次郎文学賞を受賞するなど本県文化の向上に寄与した功績
芸術	平成 27	加藤三男	87	画家	永年にわたり中央画壇において活躍し、幻想的で迫力のある独自の画風により多くの優れた作品を発表し続け国内外において高い評価を受けるなど、本県文化の向上に寄与した功績
学術	平成 27	原田宏	69	国立大学法人宮崎大学名誉教授	永年にわたる家畜への超音波利用に関する研究に基づき、近年の本県産肉用牛及び豚における種畜の産肉能力の改良や、宮崎牛のブランド確立に貢献するなど本県畜産業の向上発展に寄与した功績
体育・スポーツ	平成 26	黒岩正春	82	高鍋ラグビースクール校長	永年にわたり高等学校ラグビーフットボールの振興に努め全国水準に高めるとともに、多くの指導者を育て、ラグビースクールを通じて青少年の育成に情熱を傾けるなど、本県体育の向上発展に寄与した功績
文化功労	平成 26	川口敦己	70	出版企画・編集者鉦脈社代表取締役社長	永年にわたり卓抜した企画力で「みやざき文庫」など郷土の文学、民俗、歴史を県内外に広く発信するとともに、県内の創作・研究活動の活性化に尽力し、出版を通じて本県文化の向上発展に寄与した功績
芸術	平成 26	泰田久史	50	陶芸家	「岳映」や「降臨の里」など、宮崎の自然や歴史をモチーフとした優れた作品を制作し全国的に高い評価を得るとともに、古窯の研究、後進の育成に取り組み、本県文化の向上発展に寄与した功績
文化功労	平成 25	上野登	87	宮崎大学名誉教授 てるはの森の会顧問	経済地理学という新しい学問分野に取り組み、自然保護及び環境問題において指導的役割を果たし、綾ユネスコエコパーク登録に向けての幅広い活動等、永年にわたり本県文化の向上に寄与した功績
芸術	平成 25	生頼範義	77	画家イラストレーター	イラストレーターとして宮崎から斬新なイメージの作品を発信し続け、映画ポスターやSF小説の装丁などにより国内外で高い評価を得、永年にわたり本県美術の向上発展に寄与した功績
芸術	平成 25	黒木重雄	50	美術家西南学院大学人間科学部教授	版画と絵画の両分野において、鋭い洞察とユーモアの混在した斬新な作品を制作し、国内外の展覧会で高い評価を受けるとともに、県内でも継続的な発表により、本県美術の向上発展に寄与した功績
文化功労	平成 24	片山謙二	71	宮崎県合唱連盟理事長	本県高等学校の合唱部を全国有数のレベルに育成し全国一に導くとともに、永年にわたり県合唱界の中心として、本県音楽文化の向上発展に寄与した功績
文化功労	平成 24	三戸サツエ	故人	元京都大学霊長類研究所付属幸島野外観察施設非常勤講師	永年にわたる幸島の野生ザル生態研究において克明な観察による様々な発見を通して霊長類学の進展に貢献するとともに、自然保護活動に力を尽くし、本県文化の向上に寄与した功績
文化功労	平成 24	福富健男	76	俳人宮崎県現代俳句協会顧問	独自の感性による優れた作品を発表し、俳壇の中心として現代俳句の振興に尽力するとともに、幅広い評論活動を通して、本県文化の向上に寄与した功績
学術	平成 24	芦澤幸二	61	宮崎大学農学部教授	準絶滅危惧種コシジロヤマドリ的人工授精に関する基礎的研究により人工増殖法を確立して、放鳥や動物園展示などの成果をあげ、県鳥への関心を高め保護活動の推進に貢献した功績
文化功労	平成 23	南邦和	78	詩人（宮崎詩の会会長）	永年にわたり本県詩壇の中心的役割を果たすとともに、作家活動の集大成ともいえる「故郷と原郷」を刊行するなど、幅広い分野における創作を通じて、本県文化の向上に寄与した功績
芸術	平成 23	保田井智之	55	彫刻家東北芸術工科大学芸術学部教授	日本彫刻界の代表的な賞である平櫛田中賞受賞など、全国的に高い評価を得、独創的な表現様式を切り拓いた現代彫刻家として、本県美術の向上発展に寄与した功績
体育・スポーツ	平成 22	甲斐国征	67	一般社団法人延岡市体育協会副会長	永年にわたり日本伝統武道の保存継承や国際的な普及に情熱を注ぐとともに、地域のスポーツ振興に尽力するなど、本県体育の向上発展に寄与した功績
芸術	平成 22	松田俊哉	49	国士館大学文学部	独自のモノクローム表現で国内外の美術展において数多くの受賞を重ねるとともに、舞台美術など幅広い芸術活動を展開し、本県美術の向上発展に寄与した功績
芸術	平成 22	上杉忠弘	44	イラストレーター	イラストレーターとして国内外で多くの作品を発表するとともに、アニメ界のアカデミー賞と呼ばれるアニー賞を受賞するなど世界的に高い評価を受け、本県美術の向上発展に寄与した功績
学術	平成 22	菅邦男	63	宮崎大学教育文化学部大学院担当教授	宮崎県の大正・昭和期綴方教育に関する資料を発掘し、教育及び文化的見地から検証した研究成果の刊行により、本県学術文化の向上発展に寄与した功績

部門	年度	受賞者	年齢	所属	授賞理由
文化功労	平成 21	鈴木素直	79	宮崎県環境保全アドバイザー	野鳥の民俗学的調査をまとめた著作をはじめとし、自然保護啓発活動など、多彩な取り組みにより、永年にわたり本県文化の再発見及び地域文化の向上に寄与した功績
文化功労	平成 21	二宮勝憲	66	洋画家宮崎県美術協会会長	永年にわたり重厚な画風による優れた創作活動を行うとともに、美術団体の運営に尽力し、県美術界において多くの後進を育成するなど、本県芸術文化の向上に寄与した功績
文化功労	平成 21	村岡純秋	74	都城市山之口麓文弥節人形浄瑠璃語り太夫	山之口麓文弥節人形浄瑠璃の語り太夫として卓越した技能を発揮するとともに、人形浄瑠璃の保存、伝承及び後継者育成に努め、永年にわたり本県伝統芸能の発展に寄与した功績
文化功労	平成 21	岡正（舟山）	86	財団法人都山流尺八楽会相談役	都山流尺八の普及発展に努めるとともに、宮崎三曲会の中心として、尺八、箏、三絃の指導者の交流育成に取り組むなど、永年にわたり本県邦楽の向上発展に寄与した功績
文化功労	平成 20	山口保明	70	宮崎県民俗学会会長	永年にわたる民俗事象の調査研究及びその成果をまとめた著作などにより、本県民俗学界の中心としてその向上発展並びに本県文化財の保護継承に寄与した功績
文化功労	平成 20	中村美智子(壬地)	82	宮崎県華道協和会会長	華道各流派の交流を促進し相互の研鑽を深めながら、指導者の育成や技術向上を図るなど、永年にわたり本県華道文化の向上発展に寄与した功績
芸術	平成 20	松葉一路	49	刀剣制作者	永年の研鑽で築き上げた技により、新作名刀展において日本美術刀剣保存協会長賞を受賞するという最高の評価を得るなど、本県芸術文化の向上発展に寄与した功績
芸術	平成 20	陣軍陽	71	書家	型にとられない大らかな調和体で、日展において特選を受賞するなど全国の書壇における目覚ましい活躍により、本県書道文化の向上発展に寄与した功績
文化功労	平成 19	甲斐亮典	78	宮崎県文化財保護審議会会長	永年にわたり本県の歴史研究に尽力し、文化財保護推進、若手研究者育成、歴史ガイドボランティアの養成等多面にわたる活動により、本県文化の向上に寄与した功績
文化功労	平成 19	石井秀隣	73	前高鍋町美術館館長	永年にわたり画家として優れた実績を重ねるとともに、全国でも数少ない町立美術館の企画・運営に尽力し、国内外の芸術性の高い作品の鑑賞機会を提供するなど本県文化の向上に寄与した功績
芸術	平成 19	貴嶋ユミ	81	画家	永年にわたり中央画壇で活躍し、帰郷後も郷土の風土・伝統芸能等を独自の感覚で捉えた作品により地方から文化を発信し、本県美術の向上発展に寄与した功績
芸術	平成 19	井山忠行	71	画家	先駆的な内容の絵画制作により高い評価を得るとともに、バリ島を拠点に、アジアとヨーロッパの文化交流を推進するなど多様な活動により、本県美術の向上発展に寄与した功績
文化功労	平成 18	廣島一夫	91	伝統工芸士（竹細工）	永年にわたり本県の代表的な民具である竹細工の伝統技術を研鑽し、国内外で高い評価を受けるとともに、その保存・継承に努め、本県文化の向上発展に寄与した功績
文化功労	平成 18	永田法順	71	僧侶（長久山浄満寺住職）	永年にわたり貴重な日向盲僧琵琶の研鑽・継承に努め、質の高い琵琶奏法を確立し、演奏活動を通じて全国的に高い評価を受けるなど、本県文化の向上発展に寄与した功績
文化功労	平成 18	青木賢児	73	（財）宮崎県立芸術劇場理事長宮崎国際音楽祭総監督	宮崎国際音楽祭の創設に尽力するとともに、国内のみならずアジアで高い評価を受け、県民に親しまれ誇りとなる音楽祭に育てるなど、本県文化の向上発展に寄与した功績
芸術	平成 18	久保輝秋	50	画家九州産業大学芸術学部非常勤講師	郷土宮崎の大地の色と感触を原点とする作品により、全国的な美術展で受賞を重ねるとともに、県内外での芸術活動を通して、本県美術の向上発展に寄与した功績
学術	平成 18	陳蘭庄	49	宮崎大学フロンティア科学実験総合センター助手	アポミクシス関連遺伝子の捕捉及びその導入による農作物の品種改良に関する永年の基礎的研究により、本県文化と学術水準の向上に貢献した功績
文化功労	平成 17	永野賢一	72	宮崎シティフィルハーモニー管弦楽団長	永年にわたり、宮崎ジュニア・オーケストラの育成に努めるとともに、市民オーケストラの結成に尽力するなど、指導者として本県音楽文化の振興発展に寄与した功績
文化功労	平成 17	秋山眞和	64	綾の手紬染織工房主宰	貝紫による染織の成功など染織工芸技術の研鑽に努めるとともに、多くの後継者を育成するほか、地域産業の振興に大きな役割を果たし、本県文化の向上発展に寄与した功績
芸術	平成 17	金丸厚子（華心）	74	書家	日展での入選を重ねるなど全国的な公募展で活躍するとともに、永年にわたり後進の指導育成に努め、本県書道文化の向上発展に寄与した功績
学術	平成 17	中里雅光	50	宮崎大学医学部教授	ペプチドの生理調節機能に関する一連の研究、中でも肥満などに起因する生活習慣病対策や創薬に繋がるグレリンの摂食亢進作用を明らかにしたことにより、本県のみならず、我が国学術文化に与えた顕著な功績
学術	平成 17	寺原典彦	52	南九州大学健康栄養学部教授	植物色素アントシアニンの食品化学に関する永年の基礎的研究によって、その構造と安定化機構及び機能性の関連を明らかにし、紫甘藷アントシアニン応用食品の実用化に道を開いて、本県学術文化に貢献した功績

部門	年度	受賞者	年齢	所属	授賞理由
文化功労	平成 16	見山靖代	66	宮崎県オペラ協会会長	永年にわたり県内各地での公演を通じて、オペラの普及に尽力するとともに、オペラ「鬼八」を芸術監督として成功に導くなど、本県文化の向上発展に寄与した功績
文化功労	平成 16	黒木國昭	59	ガラス工芸家	永年にわたりガラス工芸分野で精力的に活躍し、国内外で高い評価を受けるとともに、多くの後継者の育成に努めるなど、本県文化の向上発展に寄与した功績
芸術	平成 16	橋本俊雄	57	県立宮崎大宮高等学校教諭	絵画「風のシリーズ」が美術界において高い評価を受けるとともに、美術教育にも熱心に取り組むなど、本県美術の向上発展に寄与した功績
文化功労	平成 15	黒木和雄	73	映画監督	永年にわたり日本映画界において活躍するとともに、映画「美しい夏キリシマ」ではえびの市でのオールロケを行うなど、映画を通し本県文化の向上に寄与した功績
芸術	平成 15	井上宗幸（柏鳳）	76	書家	全国的な公募展で活躍するとともに、後進の指導育成や海外との文化交流に尽力し、本県書道界の水準向上に寄与した功績
学術	平成 15	酒井正博	44	宮崎大学農学部助教授	水産増養殖で多発する細菌性疾病の迅速診断方法や魚類の免疫機構に基づく予防法を確立した功績
文化功労	平成 14	坂口伊佐男	79	宮崎県水彩画会会長	永年にわたり郷土の風景を題材に優れた創作活動が続けるとともに、本県水彩画界において指導的役割を果たし本県文化の向上に寄与した功績
文化功労	平成 13	野辺堅太郎	75	都城文化協会会長	永年にわたり「にしき江・都城歌会」を通じて短歌の振興に努め、歌集を上梓するとともに、「みやこんじょ讃歌」を企画公演するなど本県文化の振興に寄与した功績
文化功労	平成 13	西田玄豊	70	日展会友・読書書法会理事	広く全国的な公募展で活躍するとともに、永年にわたり本県書道界において指導的役割を果たすなど、本県文化の振興に寄与した功績
文化功労	平成 13	谷道夫	66	男声四重唱団「デューク・エイセス」リーダー	男声四重唱団「デューク・エイセス」を結成し、全国的に活躍する中で「フェニックス・ハネムーン」等を紹介し、永年にわたり各地の施設で演奏や講演を行うなど、本県文化の振興に寄与した功績
文化功労	平成 12	矢野一誠	70	宮崎県演劇協会会長	永年にわたり本県演劇界において指導的役割を果たしながら、演劇の普及と後進の育成に努め、本県文化の向上に寄与した功績
文化功労	平成 12	目野順也	69	画家二科会会員	永年にわたり二科会会員として優れた作品を発表するとともに、二科展宮崎展の開催に尽力し、本県文化の向上に寄与した功績
文化功労	平成 12	高橋政秋	68	作詞作曲家日本民俗音楽学会会員	永年にわたり地域の歌を多数作詞・作曲するとともに、県内各地のわらべ歌や子守歌を採集・採譜し、本県文化の向上に寄与した功績
芸術	平成 12	森和子（和風）	61	書作家	日展での入選を重ね広く全国的に活躍するとともに、海外との文化交流や後進の指導育成に尽力し、本県書道の向上に寄与した功績
芸術	平成 12	杉山昭	73	画家	モダンアート展協会最高賞の受賞など、全国的に高い評価を得るとともに、後進の指導育成に尽力し、本県文化の向上に寄与した功績
技術	平成 12	川野幸三	60	アトリエ・グローバル代表取締役	宮崎の木材を利用した木工デザインの創作活動を通じて、県産材の評価を高めるとともに、本県デザイン・技術の向上に寄与した功績
学術	平成 12	水光正仁	50	宮崎大学農学部教授	永年にわたりタンパクの硫酸化に関する生化学的研究に努め、類似的硫酸化酵素の発見と作用を中心とした研究の多岐にわたる功績
体育・スポーツ	平成 11	吉本政美	故人	財団法人宮崎県体育協会事務局長	永年にわたり剣道の指導育成に努め、県立高千穂高等学校剣道部を数々の全国大会優勝に導き、特に全国高等学校総合体育大会では史上初の男女ともに優勝を成すなど、本県体育の向上発展に寄与した功績
技術	平成 11	林雅弘	36	南九州大学園芸学部助教授	ドコサヘキサエン酸などの高度不飽和脂肪酸をクロレラ等の細胞に含有させ、水産飼料として実用化し、本県の養殖漁業の技術開発に寄与した功績
文化功労	平成 10	原田解	66	日本民俗音楽学会理事	永年にわたり郷土民謡を緻密に調査研究し、放送や執筆活動を通じて県内外に紹介するなど、本県民俗芸能の普及・保存に努めた功績
芸術	平成 10	大上敏男	68	画家	日展会友や光風会会員として活躍し全国的に高い評価を得るとともに、さらに版画教育においても優れた成果を挙げ、本県美術の向上発展に寄与した功績
学術	平成 10	西亮	65	宮崎大学工学部教授	高層ビル等の壁面を移動し防災等に役立つロボットの研究により国際学会において高い評価を受け、機械工学の進展に寄与した功績
学術	平成 10	足立泰二	57	宮崎大学農学部教授	バイオテクノロジー的手法を用いソバの自家受粉系統を育成するとともに、本県農作物の遺伝・育種のレベル向上に寄与した功績
体育・スポーツ	平成 9	宗猛	44	旭化成陸上部副監督	国際的な長距離走ランナーとして数々の優秀な成績をあげるとともに、指導者として多くの優れた選手を育てるなど本県及び日本陸上競技界に貢献した功績
文化功労	平成 9	山室良一	98	大人歌舞伎保存会	全国的にも貴重な大人歌舞伎をはじめ地域芸能を永年にわたり演じるとともに、指導者として後進の育成に努め、その保存・伝承に尽くした功績
文化功労	平成 9	中山正道	80	都城文化協会副会長	永年にわたり文芸誌「笛」の編集発行に携わるとともに、「宮崎県の作家」をはじめ優れた文学評論等を発表し、本県文芸の振興に寄与した功績
文化功労	平成 9	永江明夫	82	東郷織物工場理事長	新たな技術開発により宮崎独自の風合いをもつ現代薩摩絨や草木染大島を創作し、全国的に高い評価を受け、永年にわたり染織工芸の振興に寄与した功績

部門	年度	受賞者	年齢	所属	授賞理由
芸術	平成 8	田崎力	76	医師	写真集「たかちほ」により林忠彦賞を受賞するなど、全国的に高い評価を得るとともに、郷土高千穂をテーマに優れた作品を発表し続け本県文化の向上に寄与した功績
学術	平成 8	内嶋善兵衛	67	宮崎公立大学人文学部長	永年にわたり農業気象学及び環境科学の分野において、太陽エネルギーの利用効率向上の研究等続け、多くの領域に応用できる理論を確立し、本県文化の向上に寄与した功績
体育・スポーツ	平成 7	菊地康太郎	57	都城工業高等専門学校教授	指導者として全国高等専門学校ラグビーフットボール大会において全国最多の5回の優勝に導き、陸上競技選手として多年にわたり活躍し、本県スポーツの向上に寄与した功績
学術	平成 7	杉尾哲	52	宮崎大学工学部教授	衛星画像を利用し、都市小河川流域の不浸透面積率を推定する手法を確立し、都市小河川の洪水制御のためのデータとして活用できることを示し本県文化の向上に寄与した功績
文化功労	平成 6	市山幸作	89	旭化成工業㈱延岡支社旭友会顧問	永年、郷土の研究に努め、内藤政拳公伝など多くの著述をとおして先賢の顕彰に尽力するとともに、延岡戦災史をまとめ、本県文化の向上に寄与した功績
文化功労	平成 6	有川サチ子	55	宮崎女子高等学校教諭	永年にわたり合唱指導に努め、常に全国コンクールに上位入賞を果たすとともに、本県高校合唱を全国の頂点に導き、本県音楽文化の向上に寄与した功績
芸術	平成 6	前原東作	故人	医師	現代俳句誌「形象」を発刊し、前衛的な俳句観をもとに顕著な創作・評論活動を行い、全国的にも多大な影響を与えるなど、本県文化の向上に寄与した功績
学術	平成 6	戸田義宏	51	九州東海大学農学部教授	スギ科樹木の細胞遺伝子的研究により、新たな核形態上の分類を行い、生物学・林木育種学上極めて重要な学説を確立し、本県文化の向上に寄与した功績
体育・スポーツ	平成 5	森本辰雄	65	宮崎市林政相談員	県山岳会・協会の組織化に尽力するとともに多年にわたる記述等をおして宮崎の山々を全国に紹介するなど本県スポーツの普及・振興に寄与した功績
文化功労	平成 5	日高正晴	70	西都市西都原古墳研究所長	永年にわたり全国的にも貴重な文化財である特別史跡西都原古墳群をはじめ県内史跡の保存整備と顕彰活動に尽力し本県文化の向上に寄与した功績
芸術	平成 5	杉谷昭人	58	宮崎県高等学校教職員組合執行委員長	「人間の生活－続宮崎の地名」が第41回H氏賞を受賞するなど多年にわたる詩集の刊行や評論活動により本県文化の振興に寄与した功績
芸術	平成 5	川口晃	67	作曲家	多年にわたり合唱曲の分野で郷土にちなんだ宮崎三部作をはじめ多数の歌曲や組曲作品を発表して県内はもとより全国的に歌われ親しまれ、本県文化の向上に寄与した功績
技術	平成 5	村田正幸	71	村田産業社長	白マイタケの新品種を開発するとともにしいたけ乾燥技術の改良により品質の均一化・高品質化を図るなど本県きのこ産業の振興に寄与した功績
文化功労	平成 4	田崎松代	80	俳人	永年にわたり本県俳壇の女流作家として後進の指導にあたり第五句集「独り言」を出版するなど本県文化の向上に寄与した功績
芸術	平成 4	志垣澄幸	58	県立妻高等学校教諭	多年にわたり全国誌に短歌作品や評論を発表し「桜間」「鶴の説」「夏の記憶」「牧水百歌」等を刊行するなど本県文化の向上に寄与した功績
文化功労	平成 3	弥勒祐徳	72	画家	永年にわたり郷土に根ざした風物を描き続けるとともに、後進の指導や著述等を通じ本県美術の振興と伝統文化の保護啓発に寄与した功績
芸術	平成 3	飯田長雄	66	医師	「霧島・日南風景帳」等郷土の風景をテーマに優れた作品を発表するとともに、広く写真同好者の指導にあたるなど、本県文化の向上に寄与した功績
学術	平成 3	南谷忠志	50	宮崎西高等学校教諭	オナガカンアオイやミツバツツジ類をはじめ多数の植物の新種を発見するとともに、宮崎の水生植物の検索を行い新知見を発表し本県文化の向上に寄与した功績
文化功労	平成 2	鱸利彦	96	画家	永年にわたり中央画壇において活躍するとともに、数多く宮崎の風土を描き県の内外に紹介するなど、美術を通して本県文化の向上に寄与した功績
芸術	平成 2	大宅修	57	県立宮崎商業高等学校教諭	日展での入選を重ね広く全国的な公募展で活躍するとともに、後進の指導育成に努め本県書道の水準向上に寄与した功績
文化功労	平成 元	浜田ヤスヲ	89	華道・茶道教授	大正時代から華道に精励し県下に華道文化を普及発展させるとともに、茶道においても精進を続け本県文化の向上に寄与した功績
文化功労	平成 元	岩尾信夫	80	画家	永年にわたり本県美術界において指導的役割を果たしながら水彩画の普及と美術教育を通じて後進の育成に努め、本県文化の向上に寄与した功績
芸術	平成 元	伊藤一彦	46	県立宮崎南高等学校教諭	「隈鳥記」「月語抄」「火の橘」「青の風土記」等の歌集及び「定型の自画像」「若き牧水」等の歌論を発表して本県文化の向上に寄与した功績
学術	平成 元	續栄治	51	宮崎大学農学部助教授	香り米の特性に関する研究を行い、新品種「日向かり」及び高タンパク性新品種「ヒムカライス」を育成して本県文化の向上に寄与した功績
芸術	昭和 63	川越彌録	71	(有)川越巧芸社社長	永年にわたり創作活動に励むなかで第6回上野の森美術館大賞展特別優秀賞を受賞するとともに、後進の育成と絵画の普及に努めるなど本県文化の向上に寄与した功績
文化功労	昭和 62	出水勝利	80	県美術協会会長	永年にわたり美術団体の育成と運営に尽力するとともに美術界において指導的役割を果たし本県文化の向上に寄与した功績
芸術	昭和 62	師村三四	38	書道篆刻家	広く書壇において活躍するとともに「篆刻字典」を刊行し書道の普及に努め本県文化の向上に寄与した功績

部門	年度	受賞者	年齢	所属	授賞理由
文化功労	昭和 61	渡瀬秋一（博司）	74	県合唱連盟名誉会長	永年にわたり音楽教育に携わるなかで合唱の指導と団体の育成運営に尽力し合唱の水準を飛躍的に高めて本県文化の向上に寄与した功績
芸術	昭和 61	山田新一	61	画家	永年にわたり優れた油絵を制作し国際的に活躍するとともに、郷土の美術団体及び後進の指導育成に尽力し本県文化の向上に寄与した功績
技術	昭和 61	小野壽美	51	小野機工社長	多年にわたり農業機械の研究開発に努めるなかで葉たばこ乾燥機器等を考案製作し本県農業の振興に寄与した功績
文化功労	昭和 60	川越石男	84	宮崎自然休養村保護管理協議会長	永年にわたり天然記念物、自然休養村の指定等の自然保護運動に尽力するとともに、自然環境保護に対する住民の意識の啓蒙を図り本県文化の向上に寄与した功績
文化功労	昭和 60	大町三男	81		永年にわたり郷土の研究に努め「史跡で綴る都於郡伊東興亡史」等の著書を刊行するとともに史跡の保存顕彰に尽力し本県文化の向上に寄与した功績
芸術	昭和 60	河辺一周	44	県立宮崎西高等学校教諭	永年にわたりシルクスクリーン技法による版画、グラフィックデザインの創作活動に努めるなかで優れた作品を発表し本県文化の向上に寄与した功績
技術	昭和 60	今西士郎	73	今西 1 級建築士設計事務所	亜鉛引き鋼材とコンクリートの接着工法を開発し本県産業技術の向上に寄与するとともに、永年にわたり発明の奨励に尽力し本県文化の向上に寄与した功績
文化功労	昭和 59	児嶋琥一郎	70	社会福祉法人石井記念友愛社	永年にわたり孤児教育等福祉事業に献身するなかで石井十次日誌の編纂に尽力し同日誌等全 3 3 巻を公刊するなど本県文化の向上に寄与した功績
文化功労	昭和 59	尾上治也	69	医師	宮崎ジュニアオーケストラを創設し永年にわたりその育成に尽力するとともに同楽団による演奏活動を通じて音楽の普及に寄与するなど本県文化の向上に寄与した功績
文化功労	昭和 59	大坪資秀	86	学校法人宮崎学園園長	学校法人宮崎学園を創立し永年にわたり女子教育に尽力するとともに本県における私学教育の振興に寄与した功績
芸術	昭和 59	田中長二郎	故人		永年にわたり優れた詩の創作活動を続けるとともに人間の生死を主題にした高い境地の作品により本県文化の向上に寄与した功績
文化功労	昭和 58	西川功	77	五ヶ瀬町選挙管理委員会委員長	永年にわたり旧高千穂郷の歴史・民俗資料の調査保存に努め、その成果を「高千穂太平記」等の著作にまとめるなど本県文化の向上に寄与した功績
芸術	昭和 58	山下淳	70	宮崎市教育委員会嘱託	句集「鳥聲」の刊行をはじめ永年にわたり現代俳句の創作に精進するとともに俳句の指導・普及に努めるなど本県文化の向上に寄与した功績
学術	昭和 58	小川喜八郎	47	宮崎大学農学部助手	永年にわたり応用微生物学の研究に努めトリコデルマ・セルラーゼの発見並びにこれに基づく本県のバイオマス高度利用化に成功するなど本県文化の向上に寄与した功績
学術	昭和 58	外山信男	62	宮崎大学農学部教授	
文化功労	昭和 57	杉田正臣	83	眼科医師	永年にわたりエスぺラントの普及など多方面に及ぶ文化活動に尽力するとともに眼科医として地域医療の向上に寄与した功績
文化功労	昭和 57	坂元鐘一	80	農業	山之口麓文彌節人形浄瑠璃の復興に尽力するとともに永年にわたりその保存伝承に努めるなど本県無形民俗文化財の保護に寄与した功績
芸術	昭和 57	野口徳次	74	都城市立美術館長	永年にわたり中央画壇において活躍し優秀な絵画の制作に努めるとともに本県美術界において指導的な役割を果たすなど本県文化の向上に寄与した功績
芸術	昭和 57	久保一光	44	能楽師	永年にわたり能楽の研鑽並びに指導に努め国の総合指定重要無形文化財保持者に認定されるなど本県文化の向上に寄与した功績
文化功労	昭和 56	野口逸三郎	71	宮崎女子短期大学名誉教授	永年にわたり教育の振興に努めるとともに地方史の研究及び文化財の保護など本県文化の向上に寄与した功績
文化功労	昭和 56	海老原直	故人	宮崎大学教育学部教授	永年にわたり音楽界において指導的役割を果たすとともに多数の歌曲等を創作するなど本県文化の向上に寄与した功績
技術	昭和 56	小野四男	29	旭メディカル	人口腎臓透析膜としてきわめて安全性の高い銅アンモニアセルロース中空糸を発明し本県文化の向上に寄与した功績
技術	昭和 56	栄花正吉	45	旭メディカル	
技術	昭和 56	柘植正躬	35	旭化成	
技術	昭和 56	植松信一	37	旭化成	
技術	昭和 56	牧田実	45	旭化成	
文化功労	昭和 55	塩月儀市	84		永年にわたり学校教育、社会教育、幼児教育の振興に尽くすとともに、郷土の研究、若山牧水の顕彰活動など本県文化の向上に寄与した功績
芸術	昭和 55	清水正和（聖策）	37	宮崎大学教育学部助教授	中央画壇において「領土」シリーズなど優れた作品を発表するとともに後進の指導育成にあたり本県美術の水準を高めた功績
芸術	昭和 55	神尾久美子	57		現代女流俳句全集の収録作家に推されるなど多年にわたる創作活動により数多くの優れた作品を発表して本県俳句の水準を高めた功績
学術	昭和 55	長友大	62	宮崎大学農学部教授	暖地向きソバの品種育成に関する研究を進め、四倍体の利用による実用化品種育成の途を開いた功績

部門	年度	受賞者	年齢	所属	授賞理由
文化功労	昭和 54	福田甚二郎	93	弁護士	永年にわたり地方労働、児童福祉をはじめとする県民生活の改善に努めるとともに高校教育及び医学研究に協力し、幅広く本県文化の向上に寄与した功績
文化功労	昭和 54	植村強	68	写真業	多年にわたり写真家として優秀な作品を数多く発表するとともに県内の写真愛好者の指導育成に努め本県文化の向上に寄与した功績
文化功労	昭和 54	池田玉	73		都城クリスタルコールを全国的水準に育成したことをはじめ、永年にわたり合唱指導者や愛好者の養成に努め本県文化の向上に寄与した功績
芸術	昭和 54	金丸樹一	52	県立水産高等学校教諭	「宮崎の詩・戦後篇」、詩集「日の浦曲・抄」の刊行など多年にわたる創作活動により本県文化の向上に寄与した功績
技術	昭和 54	藤本重雄	69	藤本乾燥機製作所社長	多年にわたる椎茸乾燥機の研究開発と乾燥技術の指導により本県椎茸産業の発展に寄与し、併せて発明奨励事業に貢献した功績
学術	昭和 54	平田正一	63	宮崎大学農学部教授	「宮崎県自生植物仮目録」の刊行をはじめ多年にわたる植物学の研究により本県文化の向上に寄与した功績
学術	昭和 54	原田章之進	65	宮崎大学教育学部教授	「宮崎県方言辞典」の刊行をはじめ多年にわたる国語学、国文学等の研究により本県文化の向上に寄与した功績
文化功労	昭和 53	高見康夫	77	医師	永年にわたりオーケストラのチェロ奏者として活動が続けるとともに音楽団体の指導育成に努め本県文化の向上に尽くした功績
芸術	昭和 53	大町信平	47	歯科医師	8ミリ映画「水鳥の詩」など一連の作品により国内国外のコンクールにおいて優秀な成績を収め本県文化の向上に寄与した功績
芸術	昭和 53	阿万為人（鮎人）	60	作家	小説「アンデルセン盆地」の刊行など永年にわたる文学活動により本県文化の向上に寄与した功績
体育・スポーツ	昭和 52	戸高清光	54	宮崎県警	永年にわたり国内国外の柔道選手権大会において優秀な成績をあげるとともに後進の指導育成に努め本県及び日本の柔道界に尽くした功績
文化功労	昭和 52	三重野老吉	故人	県宝生流謡曲連合会長	五十有余年の長きにわたり謡曲、能、仕舞に精進するとともに後進の指揮育成に努め本県文化の向上に寄与した功績
文化功労	昭和 52	松尾新一郎	60	宮崎ジュニアオーケストラ指揮者	永年にわたり宮崎ジュニアオーケストラの育成と県内巡回公演並びに合唱団指揮などをとおして県民への音楽普及に尽くした功績
文化功労	昭和 52	茅野儀右衛門	72		永年にわたり医学文学など広範囲の点訳奉仕活動を通じ本県盲教育の向上に尽くした功績
芸術	昭和 52	比江島重孝	52	川南町立通山小学校長	永年にわたり児童文学の創作活動と県内民話の採集を続け多くの著作を刊行して本県文化の向上に寄与した功績
体育・スポーツ	昭和 51	福良勝己	23	大昭和製紙(株)	陸上競技の跳躍競技選手として各種大会に優秀な成績を収めモントリオールオリンピック大会に出場、本県及び日本の陸上競技界に貢献した功績
体育・スポーツ	昭和 51	宗茂	23	旭化成	日本マラソン界のホープとして国内外の各種競技大会に優秀な成績をあげモントリオールオリンピック大会に出場、本県及び日本の陸上競技界に貢献した功績
体育・スポーツ	昭和 51	上村春樹	25	旭化成	多年にわたり柔道の研鑽に努め各種の選手権大会はもとよりモントリオールオリンピック大会においても優勝し、本県及び日本の柔道界に貢献した功績
体育・スポーツ	昭和 51	長友寧雄	24	警視庁	昭和49年以来日本レスリング競技界の第一線にあって各種大会に優勝しモントリオールオリンピック大会に出場、本県及び日本のレスリング界に貢献した功績
文化功労	昭和 51	井上芳子	84	池坊華道宮崎橘会支部長	六十余年にわたり本県華道の普及及び指導に尽くした功績
文化功労	昭和 51	船渡護	66	県立延岡病院院長	県北地域の医療行政及び機関の長として三十余年にわたり医療水準の向上に力を尽くし県民福祉の増進に寄与した功績
芸術	昭和 51	福島和男	故人	詩人	「渇」その他の優れた詩作品を残すとともに文化団体の推進力となって郷土文化の向上に寄与した功績
技術	昭和 51	笠村幸男	53	宮崎地方気象台	本県の集中豪雨に関する研究開発により地域災害の防止に多大に寄与した功績
学術	昭和 51	山下研介	34	宮崎大学農学部助手	日向夏みかんの無核果の形成について生長調節物質及び三倍体を利用した研究により実用化の途を開いた功績
学術	昭和 51	山本末之	45	宮崎大学農学部助教授	
体育・スポーツ	昭和 50	山本裕洋	31	旭化成	柔道の選手として全国的選手権大会に優秀な成績をあげ、また指導者として本県及び日本の柔道界に貢献した功績
文化功労	昭和 50	一瀬仁郎	故人	県立宮崎病院副院長	永年にわたり医療の向上に努め、また風土病、成人病の研究に力を注ぐなど県民の医療福祉に寄与した功績
芸術	昭和 50	黒木淳吉	50	県立図書館副館長	永年にわたり創作活動を続け優れた多くの作品を残し、短編集「夏草」を刊行した功績
芸術	昭和 50	川添昂（悠石）	73	書道教授	優れた書作品を発表し数多くの賞を受け永年にわたり本県書道の水準向上に貢献した功績
学術	昭和 50	下川敬之	37	宮崎大学農学部助教授	植物ホルモン、エチレンの生成過程に関する基礎的研究を行うとともにエチレンによる温州みかんの着色促進法の実用化など本県園芸の振興に貢献した功績

部門	年度	受賞者	年齢	所属	授賞理由
体育・スポーツ	昭和 49	北山吉信	26	旭化成	日本マラソン競技界のホープとして国内外の競技大会で優秀な成績をあげ日本及び本県の陸上競技の向上に寄与した功績
体育・スポーツ	昭和 49	外山方圀	33	県立小林高等学校教諭	昭和43年、48年の2回全国高等学校駅伝競走大会に優勝させるなど本県高等学校駅伝の名を高め本県スポーツの向上に寄与した功績
文化功労	昭和 49	足利實	72	県農業大学校講師	永年にわたり県内の農村をくまなく訪問し技術普及を通して明るい農村社会づくりに貢献した功績
文化功労	昭和 49	奈須稔	67	県民謡会長	永年にわたり宮崎の民謡の発掘保存に努めるとともに県内はもちろん全国に普及させた功績
芸術	昭和 49	平原孝明	31	宮崎大学教育学部助教授	彫刻制作に励み日展、日彫展等に数多く入賞し本県美術界の水準向上に寄与した功績
芸術	昭和 49	佐々木恒治	49	日本美術刀剣保存協会延岡支部長	刀剣の鉄鐔制作に励み中央工芸展に数多く入賞し本県美術工芸の水準向上に寄与した功績
学術	昭和 49	古賀孝	60	医師	脾臓の超音波断層像に関する研究により本県医学医療界の水準の向上に寄与した功績
体育・スポーツ	昭和 48	佐竹美佐子	22	第一勧業銀行	日本女子バスケットボール界の第一級の選手として国際競技大会、日本リーグ戦に活躍し優秀な成績をあげるなど本県スポーツの振興に寄与した功績
体育・スポーツ	昭和 48	杉田勝彦	27	松下電器㈱	日本バスケットボール界で活躍し第20回オリンピックミュンヘン大会に日本代表選手として出場するなど本県スポーツの振興に寄与した功績
体育・スポーツ	昭和 48	磯端克明	29	旭化成	陸上競技の長距離選手として第一線で活躍し好記録を残して本県スポーツの振興に寄与した功績
体育・スポーツ	昭和 48	黒木章	27	旭化成	陸上競技の長距離選手として第一線で活躍し好記録を残して本県スポーツの振興に寄与した功績
文化功労	昭和 48	黒木正雄	63	宮崎大学農学部教授	岬馬及び繁殖地についての学術調査を行い岬馬の保護と活用について積極的な指導を続けるなど本県文化の向上に寄与した功績
文化功労	昭和 48	小嶋政一郎	80		永年にわたり郷土の伝統文化の研究を続け「延岡のこぼ」 「明治大正延岡百景」を刊行するなど本県文化の向上に寄与した功績
文化功労	昭和 48	岡園助左衛門	87		60年の長期にわたり教育界の第一線にあり本県初等教育、私学教育推進に努めるなど本県教育界の向上に寄与した功績
文化功労	昭和 48	泉谷武近	68	医師	卓越した医療技術をもって数多くの困難な手術に成功し本県医療福祉の向上に寄与した功績
芸術	昭和 48	秋月伊津子	56	作曲家	永年にわたり箏曲の作曲編曲及び演奏活動을 続け後進の指導に努めるなど本県文化の向上に寄与した功績
芸術	昭和 48	竹内勲（一笑）	70	俳人	永年にわたり創作活動을 続け優れた多くの作品を残し、句集「祝者」を刊行し本県文化の向上に寄与した功績
体育・スポーツ	昭和 47	脇田代喜美	21	㈱ニチボー	日本女子バスケット競技界の第一線級選手として国際競技大会、日本リーグ戦に活躍し優秀な成績をあげるなど本県スポーツの振興に寄与した功績
体育・スポーツ	昭和 47	猪股広光	25	西日本新聞社	日本陸上界に高校時代から活躍し初の三冠王、五冠王の輝かしい記録を残して本県スポーツの振興に寄与した功績
体育・スポーツ	昭和 47	佐藤律子	25	旭化成	日本女子陸上競技界において多年にわたり活躍して好記録を残し本県スポーツの振興に寄与した功績
芸術	昭和 47	蓑部哲三	63	司法書士	永年にわたり作歌活動을 続けて優れた多くの作品を残し、歌集「山川集」を刊行するなど本県文化向上に寄与した功績
芸術	昭和 47	新原峻吉	故人	県芸術文化団体連合会常任委員	永年にわたり制作活動に精進して数多くの優れた作品を残し本県文化の向上に寄与した功績
学術	昭和 47	橋爪昭人	44	宮崎大学教育学部教授	茶の葉に含まれるサポニンの性状及び化学的構造を明らかにして本県茶業発展のため茶の品種改良及び栽培改善を行い本県文化の向上に寄与した功績
文化功労	昭和 46	谷口利一	70	農業	多年にわたり本県特産の日向黒皮かぼちゃの栽培及び経営と普及につくしたことにより本県文化向上に寄与した功績
文化功労	昭和 46	白石盛香	75	彫刻家	多年にわたる彫刻制作活動及びその指導と普及により本県文化の向上に寄与した功績
芸術	昭和 46	神尾匡（季羊）	50	第一勧業銀行	句集「暖流」の刊行及び多年にわたる俳句指導により本県文化向上に寄与した功績
学術	昭和 46	吉村庸	38	服部植物研究所	東南アジアのカプトゴケ属に関する研究により本県文化向上に寄与した功績
学術	昭和 46	清水薫	57	宮崎大学農学部教授	ヤマトシロアリの補充生殖虫の階級分化及びシロアリに関する一連の研究により本県文化向上に寄与した功績
芸術	昭和 45	増田作一	41	県立宮崎南高等学校教諭	中央の書道展において連続受賞するなど多年にわたり本県書道の水準を高めた功績
学術	昭和 45	長友栄三郎	59	宮崎大学教育学部教授	多年にわたり西洋史の研究に努め「キリスト教ローマ帝国」を著作し「イギリス教会史」の貴重な記述をするなど学界に尽くした業績
学術	昭和 45	藤本廣	41	宮崎大学工学部教授	土質工学の基礎的研究により本県におけるシラス防災等に残した多くの業績
学術	昭和 45	高橋正佑	37	宮崎大学農学部助教授	
学術	昭和 45	緒方吉箕	54	宮崎大学農学部助教授	高密度路網による営林法及び傾斜階段造林法に関する研究により本県林業に寄与

部門	年度	受賞者	年齢	所属	授賞理由
学術	昭和 45	青木信三	66	宮崎大学農学部名誉教授	した功績

部門	年度	受賞者	年齢	所属	授賞理由
文化功労	昭和 44	松田清（仙峡）	66	著述業	延岡地方を中心とする郷土史に関する研究をはじめ永年にわたり広く文化面に尽くした功績
芸術	昭和 44	益田純	60	舞踊家	「20世紀の箱舟」「Qのシンフォニー」「わたしは貝がら」等意欲的な創作舞踊を開拓し多年にわたり郷土文化の向上に寄与した功績
技術	昭和 44	大神龍馬	49	大神製缶工場社長	P C T工法を発明して橋梁の安全架設技術の開発と普及に寄与した業績
学術	昭和 44	木村正雄	47	宮崎大学農学部助教授	魚類、特にブリ疾病魚の病理組織学的研究により魚類養殖事業の発展に寄与した業績
体育・スポーツ	昭和 43	油井潔雄	25	旭化成	日本陸上競技界において最高の記録を保持し第19回メキシコオリンピック大会に日本代表選手として活躍、本県スポーツの振興に寄与した功績
体育・スポーツ	昭和 43	高田康雄	18	早稲田大学生	日本水泳界において最高の記録を保持し第19回メキシコオリンピック大会に日本代表選手として活躍して本県スポーツの振興に寄与した功績
体育・スポーツ	昭和 43	蒲池猛夫	32	自衛隊体育学校	ライフル射撃ラビッドファイアピストル競技に日本最高の記録を保持し第19回メキシコオリンピック大会に日本代表選手として活躍して本県スポーツの振興に寄与した功績
文化功労	昭和 43	黒木勇吉	72	新みやざき新聞社主宰	小村寿太郎の研究及び刊行並びに多年にわたる文化活動による功績
芸術	昭和 43	龍舌蘭文学会			昭和13年以来30年間にわたり文芸誌を刊行し多くの優れた作品を発表してきた文学活動により本県文化向上に尽くした功績
芸術	昭和 43	菊池重三郎	67	作家	「故郷の琴」を刊行し、また高い水準の訳述並びに文学研究に尽くした功績
技術	昭和 43	浅見敦美	41	旭化成	レーヨン遠心式紡糸切替装置の自動化について発明をし、その工業化に尽くした功績
技術	昭和 43	政井昭八	35	旭化成	
技術	昭和 43	藤沢清	50	旭化成	
技術	昭和 43	松岡滋	45	旭化成	
技術	昭和 43	松村晴之	49	日本クエン酸化工	甘藷澱粉の製造技術及び澱粉粕を原料としたクエン酸醗酵技術、飼料製造技術の開発に尽くした功績
学術	昭和 43	中島茂	64	宮崎大学農学部長	長年にわたり応用昆虫学を中心とする暖地生物学の研究をして本県文化向上に尽くした功績
体育・スポーツ	昭和 42	橋口佳代子	23	日本体育大学助手	ユニバシアード東京大会に日本女子体操競技代表選手として活躍し、団体1位、個人4位の成績をあげて本県スポーツ界に寄与した功績
文化功労	昭和 42	春香建一	79	僧侶	多年にわたり西郷隆盛に関する研究及び本県文化活動に尽くした功績
芸術	昭和 42	坂本正直	53	国富町立八代中学校教諭	「馬」の連作により中央画壇において活躍し、また本県美術界の向上に尽くした功績
学術	昭和 42	小寺鉄之助	58	著述業	「西南の役薩軍口述書」その他重要史料を発見、研究、刊行して本県郷土史上に寄与した功績
学術	昭和 42	吉田敏治	42	宮崎大学教育学部助教授	貯蔵穀物害虫の生態を研究し、またその防除に関し本県農業界に尽くした功績
体育・スポーツ	昭和 41	廣島日出國	28	旭化成	朝日国際マラソンに優勝、また多年にわたり九州一周駅伝に本県選手として活躍し本県スポーツの振興に寄与した功績
芸術	昭和 41	黒木清次	51	宮崎日日新聞社	「蘇州の賦」などを出版し多年にわたり優れた創作活動を続ける一方、本県の文学活動の育成に尽くした功績
芸術	昭和 41	末原晴人	59	宮崎女子短期大学教授	日展及び光風会展に十数年来入選し中央画壇において活躍、また県下美術界の向上に尽くした功績
学術	昭和 41	坂口孝司	35	宮崎大学教育学部講師	本県の主要農作物である水稻、小麦、タバコなどについて放射能汚染の実態と、アニオン類を用いて汚染の害を防除できることを明らかにした実験的研究により将来の本県産業の振興に寄与した功績
体育・スポーツ	昭和 40	江藤泉	30	陸上自衛隊	第18回オリンピック東京大会に日本代表としてカヤック漕艇に活躍し、本県スポーツの振興に寄与した功績
体育・スポーツ	昭和 40	南将之	24	旭化成	第18回オリンピック東京大会に日本代表としてバレーボール競技に活躍し、本県スポーツの振興に寄与した功績
体育・スポーツ	昭和 40	福留義秀	32	陸上自衛隊	第18回オリンピック東京大会に日本代表として近代五種競技に活躍し、本県スポーツの振興に寄与した功績
体育・スポーツ	昭和 40	内野重昭	34	大阪府警	第18回オリンピック東京大会に日本代表として近代五種競技に活躍し、本県スポーツの振興に寄与した功績
体育・スポーツ	昭和 40	三輪寿美雄	33	旭化成	第18回オリンピック東京大会に日本代表として陸上競技に活躍し、本県スポーツの振興に寄与した功績
体育・スポーツ	昭和 40	岩下察男	24	旭化成	第18回オリンピック東京大会に日本代表として陸上競技に活躍し、本県スポーツの振興に寄与した功績
文化功労	昭和 40	日高次吉	64	著述業	多年にわたり佐土原藩を中心とした日向に関する社会経済史的研究及び史料編纂に尽くした功績
学術	昭和 40	松田義夫	57	宮崎大学農学部教授	本県畑作の主幹作物である甘藷を家畜栄養学的立場から研究し、栄養不足分を補うことによって従来鶏の飼料として困難とされてきた甘藷配合50%以上を可能として本県の農業振興に寄与した功績

部門	年度	受賞者	年齢	所属	授賞理由
体育・スポーツ	昭和 39	新名 昌	43	県立宮崎商業高等学校教諭	多年にわたり本県高校野球界の向上に寄与し県下高校野球を全国の最高水準まで引上げた功績
芸術	昭和 39	谷村博武	56	県立図書館	三十余年にわたり創作活動を続け、その間詩誌、著書に優れた作品を発表した多年にわたり後進を指導して本県芸術界に寄与した功績
技術	昭和 39	西村春生	53	西村ボイラ工業所社長	長年にわたり熱機関に関する発明考案とその実用化により本県の園芸作物の振興に寄与した功績
学術	昭和 39	中山至大	47	宮崎大学学芸学部助教授	植物の開花理論を研究して本県における農業園芸面への応用の道を開いた功績
学術	昭和 39	林栄治	46	国立赤江療養所長	肺結核患者のなかに肺吸虫症のいることを発見し、以来臨床的研究に尽くして集団検診並びに鑑別診断における有力な示唆を与え、本県公衆衛生の改善に寄与した功績
文化功労	昭和 38	杉本 節	66	県事業内職業訓練所連合会副会長	永年にわたり優れた木工家具の製作を通じて本県木工業の名声を高めその振興と改善に寄与した功績
芸術	昭和 38	守山光正	45	写真業	8ミリ天然色映画「飢肥杉の一生」を創作し本県の文化向上面に新分野を開拓した功績
芸術	昭和 38	川越光明	39	日南商工会議所副会頭	
学術	昭和 38	永田良胤	58	宮崎大学農学部教授	家畜や人間の目に寄生する東洋眼虫の生活史を解明して本県畜産の振興と山間地帯の公衆衛生の改善に寄与した功績
体育・スポーツ	昭和 37	高木栄一郎	54	宮崎県警	多年にわたり柔道の研鑽に尽力し優秀な成績をおさめ全国及び本県柔道界に寄与した功績
文化功労	昭和 37	富田保助	76	歯科医師	本県において聾教育を創始し、わが国における口話法による聾教育先駆者の一人として多年にわたり研究努力し、本県聾教育の進展に寄与した功績
芸術	昭和 37	崎川 進	63	製硯師	帝展、文展、日展その他各種工芸展等に数多く入選し紅渓石硯を芸術的特産品として全国工芸界に広め、なお本県文化の向上に寄与した功績
技術	昭和 37	川嶋次夫	47	県農業試験場	暖地における水稲秋落防止に関する研究により秋落ちの原因とその対策を明らかにして水稲の増収をはかり産業界に寄与した功績
学術	昭和 37	小島正秋	50	宮崎大学農学部教授	農業経営の改善や食生活の改善に重要な関係のある食肉に関する総合的研究、特に筋脂質組織の科学的研究に努力し、併せて本県畜産業界に尽くした功績
体育・スポーツ	昭和 36	若松秋雄	29	県立小林高等学校教諭	学校教育に精魂を傾け、陸上競技の指導にあっては深く研究し昭和32年度35年度全国高等学校駅伝競争大会において記録を更新し優勝せしめ本県体育の向上発展に寄与した功績
芸術	昭和 36	渡辺修三	58	農業	「昭和36年度現代詩人全集」「谷間の人」等多くの著書を発表し詩人界で高く評価され多年にわたって本県文化の進展に寄与した功績
芸術	昭和 36	大野重幸	61	画家	帝展、文展、日本美術院展等に数多く入選、美術界を通じて郷土芸術を指導育成して本県文化の向上に寄与した功績
技術	昭和 36	興梠一男	60	九州索道副社長	「架空索道の抱索子」「多線式並列循環式架空索道方式」等多くの特許を取得し架空索道輸送方式の研究により本県文化の向上発展に寄与した功績
学術	昭和 36	前田厚	70	県文化財専門委員	「都城土史」をはじめ多くの郷土史を多年にわたり研究して本県文化の進展に寄与した功績
学術	昭和 36	岩月善之助	32	服部植物研究所	日本の着生蕨苔類群落を研究し、はじめてその分類を設定し、構成並びに環境との関係を究明して学术界に高く評価され本県文化の進展に寄与した功績
学術	昭和 36	石黒政儀	32	宮崎大学工学部講師	治山治水及び下水道計画における基礎的資料として降雨強度算定の研究により、わが国の水禍による惨害の防除に寄与した功績
文化功労	昭和 35	山本七郎	75	農業	多年にわたり井堰、用水等の開墾者として献身的に力を尽くし、かつ文献的研究により本県文化の向上発展に寄与した功績
芸術	昭和 35	杉田秀夫（瑛九）	故人	画家	わが国におけるフォートグラム、フォートデッサン、エッチング、油絵等の前衛絵画運動の先駆的役割を果たし美術界を通じて本県文化の向上に寄与した功績
学術	昭和 35	石川恒太郎	60	県文化財専門委員	「日本古代の銅鉄の精練遺跡に関する研究」をはじめ多年にわたる郷土史研究により本県文化の向上発展に寄与した功績
学術	昭和 35	萱嶋 泉	49	県立高鍋農業高等学校教諭	蜘蛛の分類学、生態学に関する基礎を築き、さらに森林害虫の研究並びに愛鳥思想の普及等により本県文化の向上発展に寄与した功績
体育・スポーツ	昭和 34	松野義慶	59	宮崎県警	多年剣道に精進、剣道界の指導育成につくし本県体育の向上発展に寄与した功績
文化功労	昭和 34	松浦藤吉	80	観世流謡曲師範	多年にわたり謡曲の普及指導に尽くして本県文化の向上発展に寄与した功績
技術	昭和 34	藤崎諄達	43	旭化成カシミロン工場長	アクリロニトリル系合成繊維製造技術に関する基礎的並びに応用的研究により本県文化の向上発展に寄与した功績
学術	昭和 34	三善正市	44	宮崎大学農学部助教授	カシ、シイの中心郷土地帯における常緑広葉樹林の林分構成、成長、更新並びに施業に関する研究により本県文化の向上発展に寄与した功績

部門	年度	受賞者	年齢	所属	授賞理由
体育・スポーツ	昭和 33	小田切紀子	19	旭化成	第3回アジア大会その他において女子平泳競技に優秀な成績を示して本県文化の向上発展に寄与した功績
文化功労	昭和 33	本多慶次郎	76	茶道教授	多年にわたり茶道の普及指導に尽くして本県文化の向上発展に寄与した功績
芸術	昭和 33	原田正	45	医師	写真作品の発表活動並びに写真技術の指導を通じて本県文化の向上発展に寄与した功績
技術	昭和 33	土持綱男	50	県農業試験場長	菜種の不稔症に関する総合的研究その他により本県文化の向上発展に寄与した功績
学術	昭和 33	福田武夫	42	県衛生研究所長	日向熱病原体に関する研究により本県文化の向上発展に寄与した功績
文化功労	昭和 32	木村壽	57	延岡市教育委員会	多年にわたる綴方教育の実践と著作活動により本県文化の向上発展に寄与した功績
芸術	昭和 32	黒木貞雄	48	画家	版画の創作発表並びに美術指導を通じて本県文化の向上発展に寄与した功績
学術	昭和 32	黒江一郎	48	宮崎大学学芸学部助教授	安井息軒の研究及び既刊本にない遺文の蒐集註釈の刊行により本県文化の向上発展に寄与した功績
学術	昭和 32	荒武富義	58	歯科医師	歯髄内造血に関する実験、病理学的研究その他により本県文化の向上発展に寄与した功績
文化功労	昭和 31	柿原政一郎	73	高鍋町長	藩校明倫堂の図書その他の文化財の保存蒐集に尽くして本県文化の向上発展に寄与した功績
芸術	昭和 31	山中卓郎	故人	日向日日新聞文化部長	遺稿詩集「坂の上」その他の詩作品並びに新聞を通じて本県文化の向上発展に寄与した功績
技術	昭和 31	久保田正雄	47	旭化成取締役	わが国における最初の工業設備による重水の製造と同位元素利用に貢献した業績により本県文化の向上発展に寄与した功績
学術	昭和 31	柳宏吉	44	県立高千穂高等学校教諭	六国史の文註の研究により本県文化の向上発展に寄与した功績
体育・スポーツ	昭和 30	宗安正記	43	宮崎県弓道連盟副会長	昭和30年度全日本弓道選手権大会における日本選手権（小的）の獲得により本県文化の向上発展に寄与した功績
芸術	昭和 30	杉田直（作郎）	86	俳人	著書「日向俳壇史」により本県文化の向上発展に寄与した功績
技術	昭和 30	日高洋之助	32	県工業試験場	「牛の早期妊娠診断法の研究」とこれに用いる「子宮頸管粘液採取器」の発明により本県文化の向上発展に寄与した功績
技術	昭和 30	谷山直	33	県家畜衛生試験場	
技術	昭和 30	川瀬武三郎	49	県家畜衛生試験場	
学術	昭和 30	竹内英夫	39	宮崎大学学芸学部助教授	「部落有林をめぐる林業と労働力及び移動の構造」その他の諸論文の発表により本県文化の向上発展に寄与した功績
学術	昭和 30	坂本輯	67	宮崎県医学会会長	「日向熱の研究」により本県文化の向上発展に寄与した功績
体育・スポーツ	昭和 29	佐川憲昭	29	旭化成	昭和29年アジアオリンピック大会その他における走幅跳、三段跳の記録を有して本県文化の向上発展に寄与した功績
文化功労	昭和 29	平原美夫	42	県立高鍋高等学校教諭	県立高鍋高等学校を本県初の甲子園出場に導くなど多年にわたり本県野球界に寄与した功績
文化功労	昭和 29	松尾宇一	67	日州建設	昭和29年7月著書「日向郷土辞典」の刊行並びに多年にわたり郷土文化に寄与した功績
芸術	昭和 29	神戸雄一	故人	龍舌蘭同人	「1954年九州詩集」「龍舌蘭」などにおける詩作品により本県文化の向上発展に寄与した功績
技術	昭和 29	東島直	42	旭化成雷管部製造課長	M S電気雷管製造方法の発明により本県文化の向上発展に寄与した功績
学術	昭和 29	斉藤実正	46	飫肥営林署長	昭和29年5月刊行の著書「飫肥杉と部分林」により本県文化の向上発展に寄与した功績
体育・スポーツ	昭和 28	廣島庫夫	24	旭化成	昭和28年ボストンマラソン入賞その他の記録により本県文化の向上発展に寄与した功績
文化功労	昭和 28	瀬之口傳九郎	77	県文化財調査委員	その生涯をかけて県内文化財の調査、収集、保存に努めて本県文化の向上発展に寄与した功績
芸術	昭和 28	安田尚義	69	歌人	「潮音」「山茶花」などにおける短歌作品並びに著書「上杉鷹山」により本県文化の向上発展に寄与した功績
技術	昭和 28	川上謙太郎	58	宮崎大学工学部教授	「宮崎地方における降雨の研究と洪水量の算定応用」により本県文化の向上発展に寄与した功績
学術	昭和 28	日高重孝	69	県立博物館長	多年にわたる郷土史研究並びに著書「日向の遺跡遺物と伝承」により本県文化の向上発展に寄与した功績
体育・スポーツ	昭和 27	山本幸十郎	44	旭化成	多年体育の振興に努力し昭和25年度以降国民体育大会における長距離3年連続優勝記録を作って文化の進展に寄与した功績
芸術	昭和 27	塩月桃甫	65	宮崎大学講師	多年絵画の制作に努力し昭和27年度県美術展に出品した作品「猫」「静物」その他により文化の進展に寄与した功績
技術	昭和 27	平岡和一郎	33	旭化成	多年工業化学の研究に努力し苛性曹達製造における回転円板式鮮汞装置の発明とその工業化により文化の進展に寄与した功績
技術	昭和 27	藤井計輔	40	旭化成	
技術	昭和 27	本田静一	40	旭化成	
学術	昭和 27	外山三郎	42	宮崎大学農学部教授	多年林学の研究に努力し林木の育種に関する研究論文及びその業績により文化の進展に寄与した功績

部門	年度	受賞者	年齢	所属	授賞理由
体育・スポーツ	昭和 26	尾崎伊助	65		多年体育の振興に努力し昭和26年度全国警察官柔道大会において本県を優勝させる等の業績により文化の進展に寄与した功績
芸術	昭和 26	園山民平	65		多年音楽の研究に努力し歌劇「桜子物語」の作曲並びに「民謡」の採譜編曲等により文化の進展に寄与した功績
学術	昭和 26	服部新佐	36	服部植物研究所所長	c
体育・スポーツ	昭和 25	森脇篤人	34	旭化成運動部長	多年体育の振興に努力し棒高跳び4 m02の記録を保持して本県の文化向上に寄与した功績
芸術	昭和 25	中村地平	42	県立図書館長	多年文芸の研究に努力し「八年間」「ある青春」などの優秀な作品を発表して本県の文化向上に寄与した功績
技術	昭和 25	宗像英二	44	旭化成技術部長	多年新肥料磷硝安の製造に関する研究に努力し本県の文化向上に寄与した功績
学術	昭和 25	三輪忠珍	42	宮崎大学農学部教授	多年日向夏蜜柑の授粉及び授精に関する研究に努力し本県の文化向上に寄与した功績